

令和3年度事務事業棚卸の結果について

1 事務事業棚卸の概要

事務事業の見直しを行うことで経常経費の圧縮を図ること、また、事業の選択と集中により真に必要な事業を絞り込むことで、財源配分の合理化を図り、計画的かつ効率的な行財政運営を推進するため、事務事業棚卸を実施します。

令和3年度は、前年度の行政評価において「事業の在り方の検討」又は「事業内容の精査」が評価結果に含まれる事務事業を中心に、235 事務事業を対象として棚卸を実施しました。

2 事務事業棚卸の結果概要

- ・令和3年度対象事業数 中事業(※)：171、事務事業：235
- ・「総合評価結果」は棚卸による評価結果であり、今後の事業の在り方を検討する上での方向性を示しています。詳細な棚卸結果は、別紙「事務事業棚卸結果一覧」に記載しています。

総合評価結果	事業数
廃止・縮小	16
改善	82
継続	137
合計	235

※事業を行うために予算を組む際の最小単位です。中事業には複数の事務事業が含まれる場合があります。

3 事務事業棚卸結果に基づく今後の対応

本報告書で「廃止・縮小」等の総合評価結果となった事務事業については、今後、評価結果を踏まえた検討を行い、関係者との丁寧な協議・調整を経て、事業の在り方に反映させていきます。

なお、令和4年度においても、別な中事業を選定の上、引き続き事務事業の棚卸に取り組んでいきます。